

長崎県産地衣類報告(3)

田 中 慶 太¹⁾

Reports of lichen Flora of Nagasaki Prefecture (3)

Keita TANAKA¹⁾

Abstract: The report presents a record of 2 species of lichen which were found newly and 6 rare species of lichen from Nagasaki Prefecture.

はじめに

地衣類は菌類と藻類の共生したものであり、菌類は藻類にすみかと水分を与え、藻類は自分の生産した炭水化物を与えて、互いに緊密な関係を保っている。

長崎県産地衣類については、古くは Vega 号の乗組員であった Almqvist が1879年に長崎市高島で採集した地衣類を持ち帰り、Nylander によって、1890年に「*Lichens Japoniae*」として発表されたものがある(2001 生駒)。

その後採集・調査された長崎県産地衣類については、近年山本(2008)によってチェックリストがまとめられ、221種が報告された。本研究はさらなる長崎県の地衣フロアの解明を目的としたものである。

ここでは山本(2008)をもとに、いわゆる県新産の地衣類と希産種の産地追加に加え、県内地衣類についての情報を記録する。また、標本は作製せず、写真記録のみとした。

県新産の地衣類

山本(2008)のチェックリストに含まれていないもので、筆者が確認したものを記しておく。各種小名の後には産地、環境省メッシュ番号を示した。また、地衣類の名前の前の番号につい

ては、田中(2011)に連続する番号とした。

19. センシゴケ *Menegazzia terebrata* (Hoffm.) A. Massal.

佐世保市下宇土町 [4929 - 66 - 12]

中央部に粉芽化したパステールを持つことから、田中(2014)が報告したナメラクダチイと区別される。石垣に付着していた。



図1 センシゴケ

20. ウスツメゴケ *Peltigera degenii* Gyeln.

佐世保市世知原町下開作 [4929 - 66 - 81];
佐世保市下宇土町 [4929 - 66 - 12]; 佐世保市
里見町上宇土 [4929 - 66 - 25] 佐世保市下宇土
町 [4929 - 66 - 13]

ツメゴケ属については、雲仙岳 (Inumaru

¹⁾〒851 3103 長崎市琴海戸根町1058番地2 長崎市立琴海中学校

1943) でモミジツメゴケ 1 種が報告されているが、それ以来の報告となる。モミジツメゴケよりも大型で、腹面のほぼ円柱状の脈をもつ(吉村他 2009) ものを本種とした。佐世保市山間部の石垣の下部に蘚類と共に付着していた。特に北向きの湿度が確保できる環境を好んでいる。

新産地の追加

21. ヘラガタカブトゴケ *Lobaria spathulata* (Inumaru)Yoshim.

佐世保市下宇土町 [4929 - 66 - 12]

本種は緑藻を共生藻としており、辺縁に小裂片があることから区別できる。県北では大内(1967)により、安満岳と多良岳から報告されており、県内 3 例目となる。個体数は多くはないと推測される。

22. エピラゴケ *Lobaria discolor* (Bory) Hue var. *discolor*

佐世保市下宇土町 [4929 - 66 - 12]

ヘラガタカブトゴケと同じ石垣に付着していた。緑藻を共生藻としているが表面がなめらかであることから区別できる。大内(1967)により多良岳から報告があるが、県内 2 例目の報告となる。個体数は多くないと推測される。

23. モミジツメゴケ *Peltigera polydactylon* (Neck.) Hoffm.

佐世保市世知原町下開作 [4929 - 66 - 81];

佐世保市下宇土町 [4929 - 66 - 12]; 佐世保市里見町上宇土 [4929 - 66 - 25]

上記のウスツメゴケと同じような環境に生育する。地衣体腹面の黒色型の脈(吉村他 2009) などから区別できる。

24. チヂレカブトゴケモドキ *Lobaria retigera* (Bory) Trevis.

佐世保市下宇土町 [4929 - 66 - 13]; 佐世保市里見町上宇土 [4929 - 66 - 25]

カブトゴケの仲間で藍藻を共生藻としており、裂芽を持つことから本種と判断した。



図2 チヂレカブトゴケモドキ

25. ニセキンブチゴケ *Pseudocyphellaria crocata* (L.) Vain.

佐世保市下宇土町 [4929 - 66 - 13]

記録では大内(1967)によって安満岳からニセキンブチゴケとキンブチゴケの報告がある。筆者は2000年頃、郷美谷池上部の放棄水田の石垣で確認していた。遷移の影響で消失したが、今回別の場所で再発見された。本種は、目立つ黄色の粉芽から容易に確認することができる。



図3 ニセキンブチゴケ

26. オオキゴケ *Stereocaulon sorediiferum* Hue

佐世保市里美町 [4929 - 66 - 24]

県内の岩上生のキゴケ属はほぼヤマトキゴケである。オオキゴケは低山地の岩上に生じる普通種である(吉村 1974)。佐世保市の低山地からも発見された。

文 献

生駒義篤 2001. 日本地衣学詳史: 1 401

Inumaru, S. 1943. *Studia Lichenum Japoniae* III. 植

- 物分類地理12(1): 1 16
- 山本好和 2008. 都道府県別地衣類チェックリスト(3). 九州地方, Lichenology 7(1): 37 102
- 大内準 1967. 九州の地衣植物(V) ヨロイゴケ科. 生物福岡(7): 22 36
- Kurokawa, S. 1994. Japanese Species of *Parmelia* Ach. (sens.str.), Parmeliaceae(1). 植物研究雑誌69(2): 61 68
- 田中慶太 2011. 長崎県産地衣類報告(1). 長崎県生物学会誌(68): 17 19
- 吉村庸・原田浩・Hue Jae-Seoun 2009. 日本地衣類誌(1) ツメゴケ属 *Peltigera*. Lichenology 8(1): 31 72
- 吉村庸 1974. 原色日本地衣植物図鑑